

● 「西国街道・瀬野」が夢街道ルネサンスに新規認定

- 広島市安芸区瀬野地区は、西国街道の宿駅であった西条四日市（現東広島市）と海田市（現安芸郡海田町）の間に位置し、間宿（あいのしゆく）として繁栄していました。
- その瀬野地区を中心に活動する「瀬野川流域郷土史懇話会」は、地域の歴史的資源の掘り起こしや次世代への伝承等を目的として、自治体や公民館などと連携して活動している団体です。
- このたび、瀬野川流域郷土史懇話会の取り組みが評価され、平成28年6月6日開催の「ちゅうごく街道交流会議」において夢街道ルネサンス認定証の授与が行われました。

■ ちゅうごく街道交流会議（H28.6.6 於：KKRホテル広島）



（右から3人目）
瀬野川流域郷土史懇話会
松本会長

（右から2人目）
瀬野川流域郷土史懇話会
榎林副会長



中経連会長から認定証の授与



瀬野川流域郷土史懇話会の活動紹介

夢街道ルネサンスについて・・・

道を通じて、中国地方の歴史・文化・自然等の地域特性を活かした地域づくりを支援することを目的に、中国経済連合会と中国地方整備局が連携して実施している取り組みです。詳しくはホームページをご覧ください。

■ 夢街道ルネサンス:

<http://www.cgr.mlit.go.jp/cgkansen/yumekaidou/pc/index.html>

● 「西国街道・瀬野」の概要

西国街道の宿駅であった西条四日市と海田市の間に位置し、間宿（あいのしゆく）として繁栄。街道沿いには「大山刀鍛冶場跡」や「広島藩油御用所跡」などの史跡がある。



大山峠は西国街道の安芸の国最高点とされ、そこへ至る道は急峻で通行の難所であった。そのため、殿様も駕籠から降りて歩かざるを得ない「代官おろし」と称され、苦労を表現した瀬野馬子唄が歌い継がれている。

俳人「種田山頭火」が宿泊した際に日記や俳句16句を書きとめ、また、維新の志士「吉田松陰」が瀬野を通った折に漢詩を詠んでいる。



代官おろし跡



広島藩油御用所跡

〈懇話会の主な活動実績〉

- ・ガイドツアーの実施
- ・史跡看板の設置
- ・郷土史の発刊（瀬野叢書）
- ・山頭火まつりの実施
- ・地域住民等への郷土史の伝承 など